



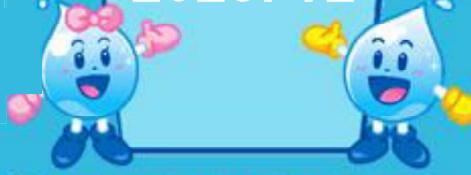
多摩地域版

# 地域水道ニュース

東京近代水道“125”年

## のあゆみ 特集

2023.12



東京都水道局

東京都水道局多摩給水管理事務所  
東京都多摩市山王下1-17 電話042-371-1283 FAX 042-371-1169  
令和5年12月発行（令和5年度 第四類第316号）



東京の近代水道の歴史は、明治31年の淀橋浄水場通水をもって始まり、今年125周年を迎えます。

近代水道125年の歩みを御紹介しています。



## 1 近代以前の水道

天正18（1590）年～明治22（1889）年

江戸入国後、徳川家康に調査を命じられた大久保藤五郎が小石川上水を、三代将軍徳川家光の時代には、多摩川から江戸に水を引くため、庄右衛門・静右衛門が玉川上水を整備しました。



玉川上水

江戸時代の木桶

玉川兄弟

これらが今日の東京水道の遠い起源です。



### 【主な出来事】

- 1590年 小石川上水（後の神田上水）整備
- 1654年 玉川上水整備

## 2 近代水道の創設

明治23（1890）年～大正15（1926）年

悪化する水質の改善のため、鉄管で給水する近代水道の整備が進められ、明治31年12月には淀橋浄水場からの給水が始まりました。水道需要の急増を受け、近代水道創設直後から拡張工事に着手しました。

荒廃する水源林の管理や関東大震災からの復興など、様々な課題に取り組んできました。



淀橋浄水場

荒廃した水道水源林

震災時の応急給水

### 【主な出来事】

- 1898年 淀橋浄水場運転開始
- 1901年 水道水源林の管理開始
- 1913年 第一水道拡張事業開始
- 1924年 水道速成復興工事開始



### 3 東京水道の拡張

昭和元（1926）年～昭和63（1988）年

戦争による中断期間を挟み、戦前の計画に基づく施設整備が進められました。戦後には悲願であった利根川水源の利用も実現し、今日の東京水道の基幹となる多くの施設が建設されました。



村山・山口貯水池

小河内ダム

在りし日の淀橋浄水場

多摩地区水道事業の都営一元化も始まるなど、東京水道は更なる拡張の時代を迎えた。

【主な出来事】

- 1936年 第二水道拡張事業開始
- 1957年 小河内ダムしゅん工
- 1963年 利根川系水道拡張事業開始
- 1971年 多摩地区水道事業都営一元化開始

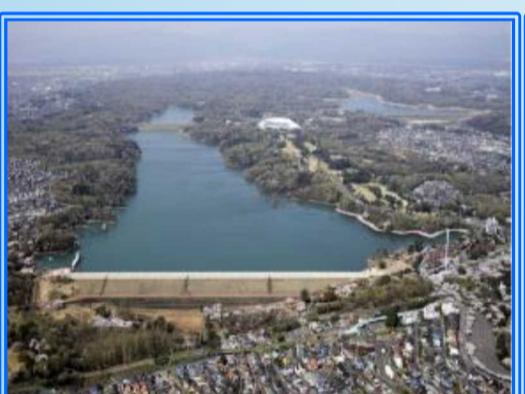


### 4 量から質への転換

平成元（1989）年～平成26（2014）年

需要の増加が落ち着く一方、原水水質悪化が問題視され、高度浄水処理の導入等による「質」の向上が大きなテーマとなりました。

阪神淡路大震災を受けた震災対策の強化など、「安全でおいしい水」の実現に向け、様々な取組を行ってきました。



水道水源林

村山下貯水池堤体強化

高度浄水施設完成式典

【主な出来事】

- 1989年 高度浄水施設建設開始
- 1998年 東京近代水道100周年
- 2012年 多摩地区水道事務委託完全解消
- 2014年 利根川水系全浄水場における高度浄水施設建設完了

### 5 持続可能な東京水道へ

平成27（2015）年～令和5（2023）年

明治31年の近代水道通水開始以来、東京の水道は最も重要な基幹ライフラインとして、都民生活と首都東京の都市活動を支えてきました。



基幹施設の更新と災害対策の強化

IWA世界会議

今後も計画的な施設整備や新技術を活用したサービスの向上等を通じて、「持続可能な東京水道」の実現に向けて取り組んでいきます。

【主な出来事】

- 2018年 IWA世界会議・展示会の東京開催
- 2020年 東京水道株式会社の設立
- 2023年 東京近代水道125周年

